

平成30年度 決算報告書

国立大学法人 弘前大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	10,328	10,518	190	(注1)
施設整備費補助金	229	204	△25	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
施設整備資金貸付償還時補助金	—	—	—	
補助金等収入	467	362	△105	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	31	31	—	
自己収入	25,156	25,785	629	
授業料、入学金及び検定料収入	4,169	4,128	△41	(注4)
附属病院収入	20,669	21,317	648	(注5)
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	318	340	22	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,760	3,462	702	(注7)
引当金取崩	135	138	3	
長期借入金収入	—	—	—	
貸付回収金	—	—	—	
目的積立金取崩	—	111	111	(注8)
学内借入金	900	900	—	
計	40,006	41,511	1,505	
支出				
業務費	34,230	34,467	237	
教育研究経費	14,911	14,829	△82	(注9)
診療経費	19,319	19,638	319	(注10)
施設整備費	260	235	△25	(注11)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	467	362	△105	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,760	2,371	△389	(注13)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	1,389	1,387	△2	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	—	—	—	
学内施設整備費	900	900	—	
計	40,006	39,722	△284	
収入－支出	—	1,789	1,789	

○予算と決算の差異について

- (注 1) 運営費交付金については、退職手当及び年俸制導入促進費において前年度からの繰越額を使用したことなどにより予算額に比して決算額が190百万円多額となっています。
- (注 2) 施設整備費補助金については、国の補正予算による補助金を新たに獲得したものの、その他工事において次年度への繰延べをしたことに伴い、受入額が25百万円少額となっています。
- (注 3) 補助金等収入については、国等からの補助金の受入額が見込みよりも減となったことにより、予算額に比して決算額が105百万円少額となっています。
- (注 4) 授業料、入学金及び検定料収入については、休退学者が見込みより増加したことなどにより、予算額に比して決算額が41百万円少額となっています。
- (注 5) 附属病院収入については、高額薬剤、特定保険医療材料使用増及び施設基準の上位項目の届出などにより、予算額に比して決算額が648百万円多額となっています。
- (注 6) 雑収入については、当初予定していなかった保険金収入などにより、予算額に比して決算額が22百万円多額となっています。
- (注 7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究等の獲得に努めたことなどにより、予算額に比して決算額が702百万円多額となっています。
- (注 8) 目的積立金取崩については、教育研究等に係る環境整備を行ったことにより、予算額に比して決算額が111百万円多額となっています。
- (注 9) 業務費（教育研究経費）については、経費節減に努めたことにより、予算額に比して決算額が82百万円少額となっています。
- (注10) 業務費（診療経費）については、高額薬剤及び特定保険医療材料使用増により、予算額に比して決算額が319百万円多額となっています。
- (注11) 施設整備費については、（注2）で示した理由により、予算額に比して決算額が25百万円少額となっています。
- (注12) 補助金等については、（注3）に示した理由により、予算額に比して決算額が105百万円少額となっています。
- (注13) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、寄附金による支出が見込みより減となったため、予算額に比して決算額が389百万円少額となっています。